

「あなたは、メシアです」

2014年09月19日

マルコによる福音書8章27節～30節。イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

上記の出来事は、マルコ福音書の頂点、曲がり角に位置づけられる。民衆に「神の国」のリアリティを示した「ガリラヤの春」の時代は終わり、受難に向かったの出発点になる出来事が記されている、主イエスは時が満ちたことを知って、意を決して、エルサレムに上られる。その前に弟子たちを連れ、主イエスが神から託された使命を告げる濃密な時を持った。一行はガリラヤ湖の北、40kmにあるフィリポ・カイサリア地方に出かけた。フィリポ・カイサリアは、その名の通りローマの植民都市で巨大なローマ皇帝像が立っていた。また東西南北の経済、宗教、文化が交流し、人間社会の諸々が雑居する所であった。

そのフィリポ・カイサリアへの途中、主イエスは「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と問われた。弟子たちは三人の名をあげている。一人目は「洗礼者ヨハネ」である。彼は真っ直ぐに神を示し、身を挺して悔い改めを迫り、最期は、ヘロデによって首をはねられ殉教した人である。民衆はヨハネに最大の敬意を表していた。二人目は「エリヤ」である。彼はたった一人で450人のバアルの預言者と400人のアシェラの預言者を打ち負かした、イスラエルでは最も尊敬された預言者である。三人目は「預言者の一人」である。預言者とは民衆からの迫害に耐え、ひたすら神の言葉を語った人である。弟子たちは、あなたは人々から最高の宗教者として評価されていると答えている。

そこで、主イエスは「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか」と弟子たち自身はどう思うかと聞かれた。人々の評価ではなく、自分の実存をかけた応答を求められた。信仰は、主イエスと私の関係をはっきり確立することで、そこでのみ「私が私になる」アイデンティティが得られる。

主イエスから決断的な応答を求められた時、例によって、ペトロが真っ先に「あなたは、メシアです」と答えている。「メシア」は「キリスト（救い主）」というヘブライ語で、ペトロはイエスを主・キリストと告白した。この「キリスト告白」がキリスト教信仰の核心である。それゆえに、この告白はマルコ福音書の頂点と言われ、また、この告白を受けて、主イエスは神から受けた十字架と復活の使命について、弟子たちにあからさまに告げられた。そして、十字架の受難へと向かって行った。マルコ福音書の曲がり角である。

ペトロの「キリスト告白」に真実があったのか。「否」というしかない。ペトロが求めた「キリスト」と主イエスが啓示した「キリスト」の間には天と地ほどの違いがあった。クリスチャンは「キリスト告白」を生きていると言う。しかし、自分の願望をキリストに押し付け、主イエスの求めに応じていないのではないか。ペトロの「キリスト告白」を読むたびに、あなたは主イエスにどのように従っているかを問い返される。